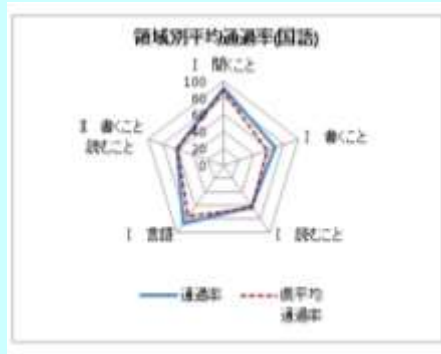
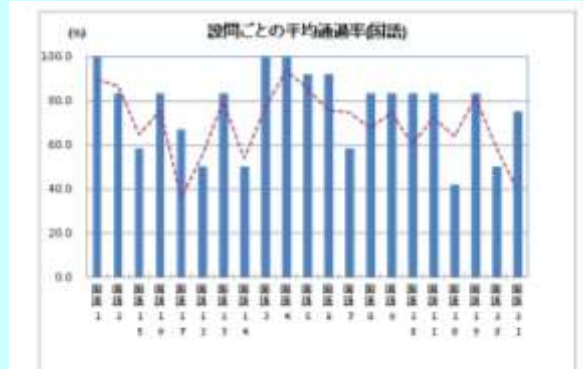


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 76.2%, 県69.7%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○全体的な傾向 (タイプⅠ, Ⅱの状況, よい領域はどこか) について
 タイプⅠは79.4%, タイプⅡは62.5%の通過率となっている。言語などの基礎的・基本的な内容については86.1%と定着が図られていると考えられるが、読むことの領域が61.1%で一番通過率が低く、継続課題である。

○昨年度の課題への取組の成果 (あるいは課題)
 継続課題である読む力を高めるための取組として、表現技法を手掛かりにして読み取る指導を行った。「根拠に基づいた考えの記述」については生徒の実態に合わせたワークシートの作成等で指導したことにより、75.0%と成果がでている。しかし「情報の取り出し」に関する問題にはまだ課題がみられるため、語彙力を高め、計画的に指導していく。

重点課題

【課題1】

段落相互の関係の把握の問題と要旨の把握の問題の通過率が50.0%と低く、説明文における読解力が課題である。

【課題2】

タイプⅡにおいて、情報の取り出しに関する問題で「目的に応じて詩の内容を読み取ることができる。」の通過率が41.7%と低かった。じっくり丁寧に文章を読みとることに課題がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

接続語を手掛かりに読み取る指導を継続する。「課題発見・解決学習」を取り入れて、説明文に対する抵抗感を少なくするために指導法を工夫、改善する。

【課題2】

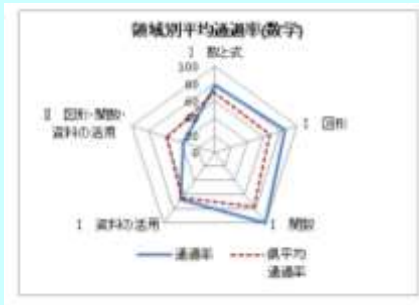
長文を漫然と読ませるのではなく、めあてを明らかにして、繰り返し読ませる指導を行う。表現技法の指導を今後も継続する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	1・2年生 復習テスト			1・2年生 期末試験	1・2年生 市学力到達度検査	2年生 全国学力・学習状況調査	1・2年生 学年末試験
目標値	60.0%			60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
実施後数値							

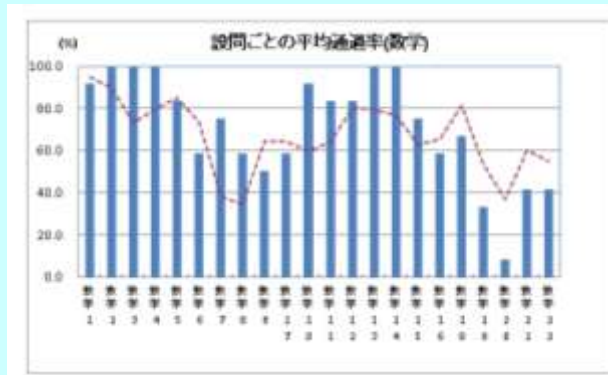
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	1・2年生 復習テスト			1・2年生 期末試験	1・2年生 市学力到達度検査	1年生 H27「基礎・基本」	1・2年生 学年末試験
目標値	55.0%			55.0%	50.0%	55.0%	50.0%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 70.8%, 県66.8%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○全体的な傾向 (タイプ I, II の状況, よい領域はどこか) について
 タイプ I は 80.4%, タイプ II は 38.3% の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えられるが、一方では、文字式で表す・文字式を読む、比例・反比例について数学的な表現を用いて記述する等の問題の通過率が低い。

○昨年度の課題への取組の成果 (あるいは課題)
 昨年度は、資料の傾向を捉え、判断した理由を正しく選択する問題に課題が見られた。そこで、自ら考えた理由を記述させる取組を行った。その結果として、昨年度の通過率 30.8% に対し、今年度の通過率が 41.7% となり、11.7 ポイント上昇したが引き続き課題である。

重点課題

- 【課題 1】
 道のり、速さ、時間の関係式が、比例、反比例の関係であることを読み取る問題に課題がある。
 (通過率 8.3%)
- 【課題 2】
 調査結果を比較して、正しく判断した理由を説明する問題に課題がある。無答の生徒が 16.7% いる。
 (通過率 41.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

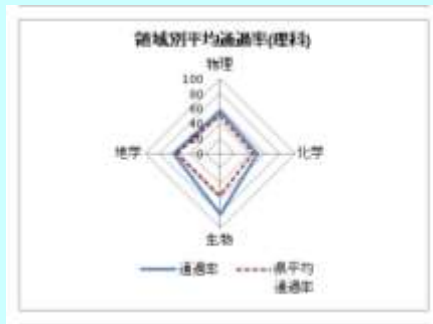
- 【課題 1】
 身の回りの現象を題材にして関数関係を身近に感じさせる内容を学習させる。また、変化する数量を予想させ、その理由を数学的な表現を用いて説明するように指導する。
- 【課題 2】
 調査結果を比較し、図や表の特徴を捉えて判断した理由について、数学的な表現を用いて述べることを指導する。支援が必要な生徒には、テンプレートを用いて指導する。

【課題 1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生中間試験		1年生期末試験	1年生市学力到達度検査		2年生学年末試験 1年生学年末試験
目標値		60.0%		60.0%	60.0%		60.0%
実施後数値							

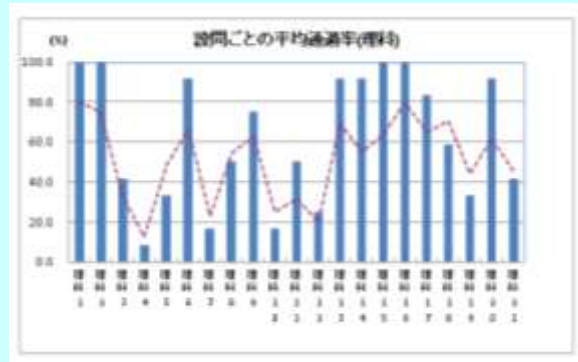
【課題 2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		1年生中間試験 2年生中間試験		1年生期末試験 2年生期末試験			1年生学年末試験 2年生学年末試験
目標値		60.0%		60.0%			60.0%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校61.9%, 県51.8%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○全体的な傾向 (タイプ I, II の状況, よい領域はどこか) について
 タイプ I は 67.4%, タイプ II は 54.6% の通過率となっている。生物領域は全体で 81.7% と定着が図られていると考えられる。また, 「仮説に基づいた実験結果の予想(通番 2)」「ルーペの使い方(通番 15)」を問う問題は通過率が 100% であり, 実験の基本的な技能は身に付いていると考えられる。

○昨年度の課題への取組の成果 (あるいは課題)
 昨年度の課題であった, 植物の種類による比較問題(通番 12)は昨年度の 7.7% から 25.0% と微増したが, 通過率が低く継続して取り組みを行っていく必要がある。本年度は, 化学領域の通過率が 50.0% と低く, 特に実験内容の意味を問われる問題の通過率が低い。また, 力の大きさを作図で表す問題(通番 4)の通過率が 8.3% と低い。

重点課題

【課題 1】

植物を観察した結果から, どの種類に分類されるか根拠をもって判断する問題で, 判断基準として優先されるべき情報を間違え, 分類を間違えている生徒が多かった。(通過率 25.0%)

【課題 2】

机がボールを支えている力を矢印で作図する問題で, ボールにはたらいっている重力を作図していたり, 支えている力の向きや作用点を間違えている生徒が多かった。(通過率 8.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題 1】

授業で, 種類が違うものを比較させることで, 自ら「共通点」と「相違点」を見つけさせる。その後, 分類の手順を確認してから, 実際に分類させる場面を設定する。また, 問題から必要な情報と不必要な情報を判断し, 峻別することができるよう練習問題を解かせて指導していく。

【課題 2】

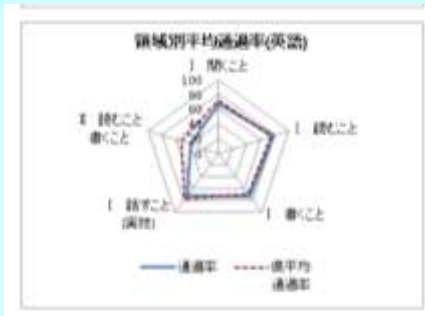
地球上にある物体には重力と垂直抗力が常にはたらいっていること, 物体全体にはたらく力は物体の中心から作図をすることを理解させ, 問題に取組ませる。また問題を解くときは, 問題文を最後まで読み, どの物体にはたらいっている何という力を作図するのかを確認するよう指導していく。

【課題 1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生中間試験		1・2年生 期末試験	1・2年生 市学力到達度検査		1・2年生 学年末試験
目標値		40.0%		50.0%	55.0%		60.0%
実施後数値							

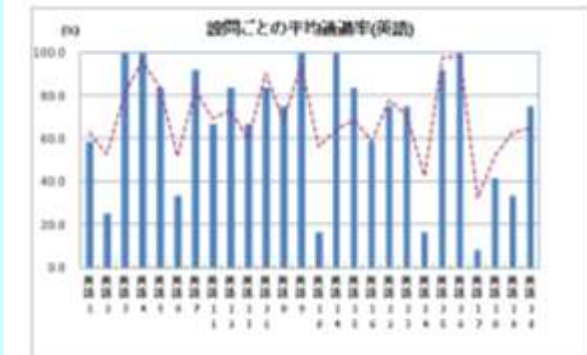
【課題 2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生中間試験		1・2年生 期末試験	1・2年生 市学力到達度検査		1・2年生 学年末試験
目標値		30.0%		50.0%	55.0%		60.0%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校67.0%, 県69.6%)

領域別平均通過率



設問1,2の平均通過率



本年度の結果について

○全体的な傾向 (タイプ I, II の状況, よい領域はどこか) について
 タイプ I の「書くこと」の通過率は 72.0%, 「読むこと」の通過率は 78.3% である。一方, タイプ II の「読むこと, 書くこと」の通過率は 39.6% である。基本的な「書くこと」, 「読むこと」の力はつきつつあるが, 前後の文の関係を考えて読んだり, 与えられた課題に対して自分の考えを書いたりすることに課題がある。

○昨年度の課題への取組の成果 (あるいは課題)
 事前に読み取りのポイントを与えてから読ませ, まとまった英文を読んで要約する活動を仕組んできた。今年度も継続して取り組んでいきたい。

重点課題

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題 1】

タイプ I 「聞くこと」の領域で, "Can I use your bike?" の依頼の問いかけに対して, "Sure" と適切に応じた生徒は 25.0% だった。58.3% の生徒が "Yes, I can" と解答している。

【課題 2】

タイプ II 「読むこと書くこと」の領域で, 前後の内容を読み取り, 文と文のつながりなどに注意してまとまりのある一貫した英語の文章を書く力に課題がある。(8.3%)

【課題 1】

ペアやグループでロールプレイを行い, 場面や状況に応じた答え方の応答を学習する。また, 相槌や賛成または反対など自分の意見や考えを述べる活動もする。そしてその内容についてのミニテストを行う。

【課題 2】

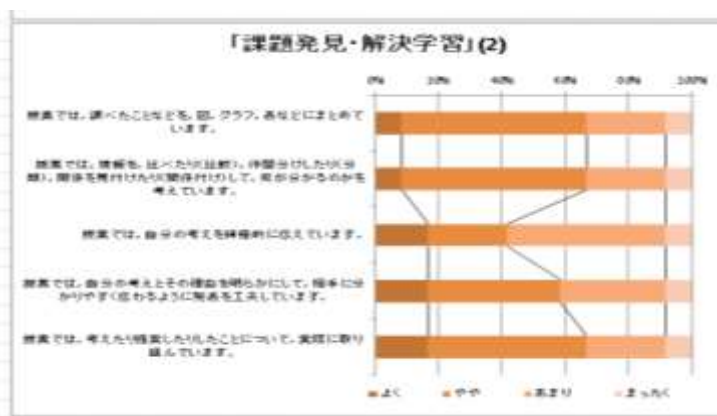
まとまりのある英文を読み取るために, 語彙力をつける。そのために毎時間単語テストをする。また文構造を覚えるために単語の並べ替えをするなどの活動を仕組む。そして接続詞や代名詞に着目して読んだり, 一貫した内容の英文を書いたりする学習活動を通して, 文と文のつながりを意識させる。

【課題 1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		1・2年生 中間試験		1・2年生 期末試験	1・2年生 市学力到達度検査		1・2年生 学年末試験
目標値		40.0%		50.0%	55.0%		60.0%
実施後数値							

【課題 2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		1・2年生 中間試験		1・2年生 期末試験	1・2年生 市学力到達度検査		1・2年生 学年末試験
目標値		40.0%		50.0%	55.0%		60.0%
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

(1) 生活・学習

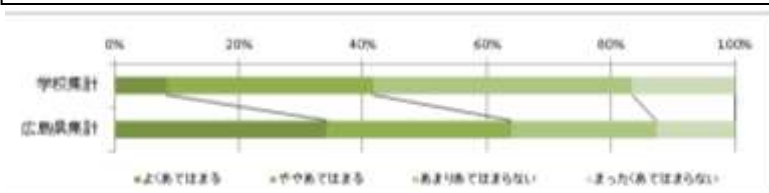


(2) 教科

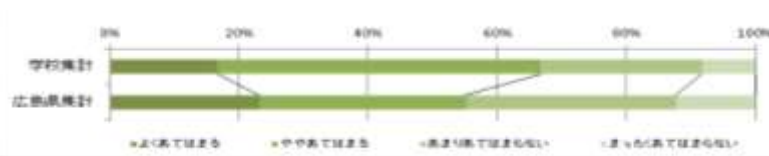
国語の授業では、伝えたいことを中心をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いています。



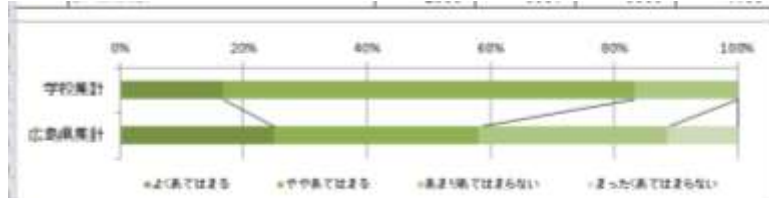
数学の勉強は好きです。



理科の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。



英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。



生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
「授業では自分の考えを積極的に伝えています。」が41.7%と低い。	お互いが大切にされるクラス作りをする。元気の出る発言や良い行いを学級でほめる。また、発表の仕方を示して身に着けさせるとともに、聞く態度の指導も徹底する。職員会議などで情報交流を行う。	全学年	肯定的評価70.0%	生徒調査	1月		

	生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	「国語の授業では、伝えたいことを中心をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いています。」の否定的回答（あまりあてはまらない）33.3%で、よくあてはまるは0%、ややあてはまる66.7%という結果である。	「組み立てを考えて書く」ためのステップ式ワークシートを作成し、指導を繰り返す。	2	あてはまると回答する生徒が30.0%	生徒アンケート	12月		
数学	意識調査の中で、一番低い肯定的評価の項目は「数学の勉強は好きです。」の41.7%であった。	数学の勉強を好きにさせるために生徒に自信をつけさせる。基礎的な知識・技能を身に付けさせ、計算間違いや単純な間違いを減らす。授業のはじめに帯時間を設け、計算ドリルに取り組ませる。	2	肯定的評価の生徒が60.0%	生徒アンケート	12月		
理科	「理科の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています」の否定的回答が33.3%である。	授業で学んだことがどのように社会で役立っているのか紹介したり、学んだ原理を利用する方法について考えさせたりする場面を設定する。	2	肯定的評価の生徒が75.0%	生徒アンケート	12月		
英語	「英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。」の否定的回答が41.7%である。	単元や授業始めの聞き取りのときは、ワークシートを渡しメモを取りながら聞く習慣をつけさせる。また自分の考えや意見を書いたり、ペアで交流したりする時間を授業の中で確保していく。	2	肯定的評価の生徒が70%	生徒アンケート	12月		